

令和6年度 第2回 和地小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年7月10日（水） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 和地小学校 相談室
- 3 出席委員 宇津山 茂、松木 和見、田中 恵子、牧田 眞喜夫、山本 真希、中村 日出雄、岡井 保、高橋 伸幸、西浦 麻里子
- 4 欠席委員 松尾 隆廣
- 5 オブザーバー 安澤 伊織（和地協働センター長）
中村 規子（民生委員児童委員和地地区会長）
- 6 学 校 青島 秀典（校長）、石塚 稚人（教頭）、野中 信彰（主幹教諭）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 野中 信彰
- 10 議長の選出

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、松木和見委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）クラブの様子について
- （2）支援の具体化について
- （3）学校評価アンケートの項目について

12 会議記録

司会から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）クラブの様子について

○特別活動のねらいや本校のグラウンドデザインで目指している子供像から、どんな支援ができるか

- ・講師は難しいが、見守り活動ならできる（松木委員）
- ・バドミントンの人数が多く、2人の先生で教えるのは大変そうだった。教える人が増えるといい。（岡井委員）
- ・楽しく活動に参加していた。普段の授業と違った、生き生きとした表情が見られた。（宇津山委員）
- ・先生方の希望・要望はあるのか。先生方のやり方もあるのでは。（高橋委員）
- ・クラブ活動の時間を伸ばすのは、難しいのか。回数も増やしてあげたい。（牧田委員）
- ・授業時間は45分だが、クラブは準備や片付けを含めて60分間で設定している。現在10クラブだが、内容もクラブ数も決まっているわけではない。本校は、協働センター体育館を借りているため、運動系のクラブを多く設定できる。教員で出張者が出ると、指導者の人数が足りなくなってしまう問題はある。大人の手があると学校はうれしい。専門的な方から指導していた

できれば、子供もうれしい。(教頭)

- ・ 今度、コーディネーターと学校で来年度の内容について具体的に進める。(松木委員)
- ・ イラストクラブでは、先生は前で見守るスタイルだけでなく、絵手紙や美術をやっている方を招くと、より活発にはならないか。(田中委員)
- ・ クラブ活動の予算があれば専門的な人材を招くことができるのでは。(高橋委員)
- ・ 協働センターに人材を頼めないか(山本委員)
- ・ 予算を付けて、10 人 35,000 円の講師を(高橋委員)

(2) 支援活動と課題

- ・ 下校見守り 遠くの子供の家を把握したい。(宇津山委員)
- ・ 給食のサポート 期間が長いと子供の甘えが出てきて、やりにくくなることもある。(山本委員)
- ・ 1・2年の交通安全教室のやり方を見直したい。(山本委員)
- ・ 担当との打ち合わせ時間を設けたい。(山本委員)
- ・ 交通安全を語る会 主旨がぼやけていたように思う。(松木委員)
- ・ 話し合ったものを自治会に伝えてほしい。(子供から見た危険な場所)(中村委員)
- ・ 連合自治会へ危険箇所を連絡します。(教頭)
- ・ ボランティアの方の総括をする場があるといいのでは。(松木委員)
- ・ 通学路の旗の設置場所は、学校で指定?(牧田委員)
- ・ 指定通学路の設定は主な道路。安全のぼり旗の位置は、自治会で相談していただき、学校と共有したい。(教頭)

(3) 学校評価アンケートの内容

- ・ 学校で入力するとなると、理由を書きにくい子もいるのではないか。アンケートを受けて結果を保護者に返すのか。親は子供がどう入力したかが分からない。親へのアクションはらないか。(田中委員)
- ・ このアンケートは学校の評価であり、教育活動に反映させるためのアンケート。いじめなどの生活アンケートは定期的に行い、その都度、子供と面談を行っている。この評価から今後の取組に生かす。(校長)

1 3 学校支援コーディネーター研修の報告

- ・ 5月にCSコーディネーター研修に参加した。熟議で検討したことをやりっぱなしにしないことやCSの目的・概要等について話を聞いた。(山本委員)

1 4 その他

連絡事項

- ・ 次回は、令和6年10月16日(水)午後13時30分から相談室で開催する旨の報告があった。